

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	後期高齢者医療一般事務	款	1	項	1	目	1	事業	1	整理番号	626		
担当部課名	保健福祉部国保年金課	係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1283			昨年度整理番号	188	枝番号	
上位施策No・施策名	104 後期高齢者医療事業の運営					予算事業区分	新規事業						

事業開始	平成	▼	20年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 75歳以上及び65歳以上74歳で政令で定める障害のため認定を受けた高齢者					根拠法令等	(1) 高齢者の医療の確保に関する法律・同施行令・同規則 (2) 杉並区高齢者の医療に関する条例・同規則				
事務事業の概要	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					活動指標名(式)					
	高齢者の心身の特性や生活実態などを踏まえて、高齢者にふさわしい医療が受けられるよう制度の維持に努める。					(1) 後期高齢者医療被保険者数 (2) 後期高齢者医療保険料賦課決定・納入通知書発送件数					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
広域連合との役割分担により、区は保険証の引渡し、加入や資格喪失届出や各種申請の受付及び保険料の徴収を行う。					成果指標名(1) 保険料収納率(5月31日現在の数値) 算定式・指標の説明等 保険料収納額 / 保険料調定額 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						

区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画					
指標	活動指標(1)	人	0	50,646	49,199	49,199	50,560	52,100	51,599	98.0	102.8	
	活動指標(2)	件				60,000	74,146	60,000	60,000	123.6	123.6	
	成果指標(1)	%				98.00	97.25	98.00	98.00	99.2	99.2	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0	133,256	120,062	39,212	37,863	75,882	20年度予算執行率% 96.6			
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	千円	0	178,750	101,094	33,106	32,587	64,776	20年度から、保険料の徴収が始まったため、成果指標を変更しました。			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.00 0.00	1.90 0.00	2.20 0.00	15.50 0.00	11.40 1.00	9.20 1.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0	17,366	20,108	140,275	103,170	83,260			
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	2,800	2,800			
	総事業費 + +	千円	0	150,622	140,170	179,487	143,833	161,942				
	単位あたりコスト (-) ÷	円		2,974	2,849	3,648	2,845	3,108				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等	千円	0	0	46,098	0	0	0			
		都からの補助金等	千円				0	0	0			
その他の補助金等		千円				0	7,924	0				
特定財源計 + + +		千円	0	0	46,098	0	7,924	0				
差引:一般財源 -		千円	0	150,622	94,072	179,487	135,909	161,942				
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 626

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		保険料当初通知封入封緘委託			5,859
		年齢到達者被保険者証発送	4,516	人	1,242
		督促状等発送	18,929	人	947
		口座開始お知らせ通知	2,784	人	139
その他 ()			29,676		
(2)事業実績	年度当初は、制度の周知が十分でないため混乱しましたが、制度説明会やダイレクトメール等により、制度の周知に努めました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	制度の周知不足もあり、被保険者ばかりでなく、現場の混乱をも招きました。次々に新たな制度変更があるので、事務処理に追われましたが、一年が経過し、制度が定着しつつあります。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	制度が分かりにくいとの意見があります。国民健康保険料に比べ、保険料が高いと言われます。
	今後の予測	制度が定着しつつありますが、現在も、与党PTにおいて制度の見直しを検討中ですので、検討結果を注視していきます。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 理由または具体的内容:後期高齢者医療制度により、高齢者が安心して医療を受けることができ、疾病の早期発見・治療に役立っています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	後期高齢者医療制度の趣旨を区民が理解し、制度運営が軌道に乗ればできます。
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	制度の周知に努め、区民に制度を理解してもらうことです。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	医療機関での自己負担や保険給付費の1割を保険料で賄うなど、受益者負担は十分できています。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	スケールメリットを活かし、広域連合で印刷・封入封緘を行っています。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題
後期高齢者医療制度は、高齢者の医療費の大幅な増加や少子化に対応し、国民皆保険を維持するために検討を重ねた結果始まった制度ですが、一部の過剰な報道により、制度の真の目的が国民に十分に伝わっていないことが残念です。制度が国民の理解を得られ、さらに定着すれば、将来に渡って高齢者の医療を確保できるので、より一層の周知に努めることが課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 広域連合との役割分担により、区は保険証の引渡し、加入や資格喪失届出や各種申請の受付及び保険料の徴収を行いました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 21年度以降も同様の事務を継続します。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 制度の内容変更が相次いだため、高齢者にとって、非常に複雑かつ分かりにくいものとなりました。広報やDMを使用したPRの徹底と丁寧な説明をして理解していただくほか方策はありません。		
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	対象者数の増や保険料滞納者に係る経費の増及び22年度は被保険者証の更新の年であるため、郵送料(簡易書留)が増となります。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	広域連合分賦金			款	2	項	1	目	1	事業	1	整理番号	627				
担当部課名	保健福祉部国保年金課			係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1283			昨年度整理番号	189 <small>枝番号</small>				
上位施策No・施策名	104 後期高齢者医療事業の運営						予算事業区分	新規事業									
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業						
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			東京都後期高齢者医療広域連合		根拠法令等	(1) 高齢者の医療の確保に関する法律・同施行令・同規則 (2) 東京都後期高齢者医療広域連合規約									
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	東京都のすべての自治体で組織する後期高齢者医療広域連合の経費の一部を区の負担金として支出。						活動指標名(式)	(1) 後期高齢者医療被保険者数(1月1日現在) (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区の被保険者数に見合った各分担金を支払う。						成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標	成果指標名(1)	分賦金支払回数							
		算定式・指標の説明等															
		成果指標名(2)															
		算定式・指標の説明等															
区分	単位	18年度		19年度				20年度				21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%		
		実績		計画	実績		計画	実績		計画		22年度					
指標	活動指標(1)	人	0		0	46,903		49,199	48,800		49,978	50,560	96.5	99.2			
	活動指標(2)																
	成果指標(1)	件	0		2	2		17	17		18	18	94.4	100.0			
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0		87,053	77,948		9,264,554	8,545,914		9,669,941	20年度予算執行率% 92.2					
	(内)投資的経費等	千円	0		0	0						特記事項 20年度から療養給付費負担金、保険料負担金もあるため、19年度の準備段階に比べ、金額が大幅に増えています。					
	(内)委託費	千円	0		0	0		0	0		0						
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.00	0.00	0.10	0.00	0.30	0.00	0.50	0.00	1.00				0.00	1.00	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0		914	2,742		4,525	9,050					9,050		
		(内)非常勤職員分	千円	0		0	0		0	0					0		
	総事業費 + +	千円	0		87,967	80,690		9,269,079	8,554,964		9,678,991						
	単位あたりコスト (-)÷	円				1,720		188,400	175,307		193,665						
	財源	受益者負担分	千円	0		0	0		0	0					0		
		国からの補助金等	千円	0		0	0		0	0					0		
		都からの補助金等	千円	/		/	/		0	0					0		
		その他の補助金等	千円	/		/	/		0	0					0		
特定財源計 + + +		千円	0		0	0		0	0		0						
差引:一般財源 -		千円	0		87,967	80,690		9,269,079	8,554,964		9,678,991						
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0		0.0	0.0		0.0							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 627

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				東京都後期高齢者医療広域連合への分賦金の支出	
		その他 ()			0
(2)事業実績		保険料等負担金、療養給付費負担金、保健基盤安定負担金、保険料軽減措置負担金、事務費負担金を支払いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	19年度の準備段階から、事務費等を負担しています。20年度から療養給付費負担金、保険料負担金もあるため、金額が大幅に増えています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	住民からの意見はありません			
	今後の予測	療養給付費は、20年度は11か月ですが、21年度以降は、12か月分となるため、事業費が増えています。22年度は保険料の改定の年ですので、保険料負担金が増額となると予測します。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)		左の理由または具体的内容		
			規約に定められた負担金のため、特に施策に反映する点はありません。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策		規約に定められた負担金を支出する事業であるためです。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		規約に定められた負担金を支出する事業であるためです。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)		保険料軽減等で、国の公費負担額が増えれば、下げられると思います。		
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(4)へ	(2) 協働等の相手			
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方 行政直轄			
評価と課題		東京都後期高齢者医療広域連合は、区との役割分担により、給付や被保険者証印刷・封入等の事務等を担っているため、区が負担金を支払い、連合を維持運営していくことは非常に重要なことです。しかし、22年度の保険料見直しを行う際、各区市町村の負担となっている葬祭費の算定等に関し、改めて検討を行い、区市町村の財政及び事務事業に過度な負担をかけないよう働きかけをしていく必要があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
22年度方針	(1)22年度予算見直しの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 22年度は保険料見直しの年度ですが、医療費の増から保険料負担金が増となると予測されます。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		後期高齢者健康診査			款	3	項	1	目	1	事業	1	整理番号	628								
担当部課名		保健福祉部国保年金課			係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1283			昨年度整理番号	枝番号								
上位施策No・施策名		104 後期高齢者医療事業の運営			予算事業区分								新規事業									
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			後期高齢者医療被保険者		根拠法令等		(1) 高齢者の医療の確保に関する法律 (2) 東京都後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例												
	事業の目標		(対象をどのような状態にしたいのか)			高齢者の健康診査を行うことにより、高齢者の健康の増進と疾病の予防に役立て、医療費の適正化に資する。		活動指標名(式)		(1) 健康診査受診者数 (2)												
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)			東京都後期高齢者医療広域連合と健診事業について契約を交わし、健診実績により受託収入の支払を受ける。杉並保健所健康推進課に予算の令達を行い、健診事業を実施		成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 健診率 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等												
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%									
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度											
指標	活動指標(1)		人					28,220	19,257	292,602				68.2								
	活動指標(2)																					
	成果指標(1)		%					60.00	39.07	60.00	60.00	60.00	65.1	65.1								
	成果指標(2)																					
総事業費・コスト把握	事業費		千円					277,125	189,097	292,602	20年度予算執行率%		68.2									
	(内)投資的経費等		千円								特記事項 執行残の理由は、誕生日健診が広く定着していたところ、20年度から健診の仕組みが大きく変更になったことと健診期間が3月31日までとなったため受診率が見込みを大きく下回ったことです。											
	(内)委託費		千円					275,210	189,097	292,602												
	職員数(常勤 非常勤)		人					0.20	0.00	0.20							0.00	0.20	0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0	0	0	1,810	1,810	1,810													
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0													
	総事業費 + +		千円	0	0	0	278,935	190,907	294,412													
	単位あたりコスト (-)÷		円				9,884	9,914	1,006													
	財源	受益者負担分		千円																		
		国からの補助金等		千円																		
都からの補助金等		千円																				
その他の補助金等		千円				61,932	64,703	105,033														
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	61,932	64,703	105,033														
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	217,003	126,204	189,379														
受益者負担比率 ÷		%				0.0	0.0	0.0														

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 628

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	医療衛生委託			171,687
	事務処理委託			12,974
	その他 ()			4,436
(2)事業実績	健康推進課に予算を令達し、事務を執行しました。健診項目は、生活習慣病の早期発見に着目した特定健診の必須項目を基本に設定しています。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	後期高齢者医療の被保険者の健診は、現在、法では努力義務となっていますが、与党PTにおいて、義務とすべきとの検討が行われています。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	誕生日健診のほうがわかりやすかったとの意見があります。		
	今後の予測	健診実施月が、6月から3月になったため、広報等による周知を徹底し、被保険者の理解を得る必要があります。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	左の理由または具体的内容 高齢者の場合、入院や老人ホーム等施設への入所者が多いため、健診を受診できる方は全被保険者の半数程度だからです。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	受診率が上がれば成果を向上させることができます。 21年度も健診期間、受診券発送が前年度と変更になるため、4、5月生まれの対象者に個別通知をしました。周知徹底が必要です。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	広域連合では、1人500円の自己負担金を徴収することとしていますが、杉並区は特定健診と同様の扱いとし、自己負担なしで実施しています。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	受診票等の印刷は、健康推進課において特定健診や生活機能評価と合わせて行うことによりコストダウンを図っています。		
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)		
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	従来の誕生日健診から大きく変更になり、健診期間も費用決済の関係から、年度末までの受診に変更となったことにより、区民に混乱が生じました。また、健診実施機関から3月末までの受診結果の早期報告が区にないと、広域連合からの受託収入が得られない等の問題もあります。被保険者には広報、パンフレットによる周知、健診実施機関には、契約時に周知徹底が必要です。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	20年度から、保険者である広域連合より健診の受託収入を受けて区が実施することとなりましたので、健康推進課に予算を令達し、長寿健診として事務を執行しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	被保険者に対する周知が十分でないため、今後も一層のPRを実施する必要があります。								
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	60パーセントの受診率を見込んで予算を見積もっています。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		葬祭費の支給		款	3	項	1	目	2	事業	1	整理番号	629			
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1283		昨年度整理番号	枝番号				
上位施策No・施策名		104 後期高齢者医療事業の運営		予算事業区分				新規事業								
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	20年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			後期高齢者の葬祭を執行した者		根拠法令等		(1) 杉並区後期高齢者の被保険者の死亡に伴う葬祭費支給要綱		(2)				
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		後期高齢者の葬祭執行者に70,000円限度で葬祭費を支給。			活動指標名(式)		(1) 葬祭費支給件数		(2)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		後期高齢者の葬祭執行者の申請により、葬祭執行者に70,000円限度で葬祭費を支給			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)		算定式・指標の説明等		成果指標名(2)				
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画		22年度					
指標	活動指標(1)		件				2,400	2,035	2,400	2,400	84.8	84.8				
	活動指標(2)															
	成果指標(1)															
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円				166,311	142,442	151,200	20年度予算執行率%		85.6				
	(内)投資的経費等		千円							特記事項 執行残の理由は、年度当初、月200人の死亡と推定しましたが、実績が減となったためです。						
	(内)委託費		千円				0	0	0							
	職員数(常勤 非常勤)		人				1.80 0.00	1.80 0.00	1.50 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0	0	0	16,290	16,290	13,575							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	0	0	0	182,601	158,732	164,775							
	単位あたりコスト (-)÷		円				76,084	78,001	68,656							
	財源	受益者負担分		千円												
		国からの補助金等		千円												
都からの補助金等		千円														
その他の補助金等		千円														
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	182,601	158,732	164,775								
受益者負担比率 ÷		%				0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	後期高齢者医療保険保健事業			款	3	項	1	目	3	事業	1	整理番号	630
担当部課名	保健福祉部国保年金課			係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1283		昨年度整理番号	枝番号	
上位施策No・施策名	104 後期高齢者医療事業の運営							予算事業区分	新規事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等	(1) 高齢者の医療の確保に関する法律 (2)					
	後期高齢者医療制度の被保険者							活動指標名(式)	(1) 夏季施設の借上げ数 (2)				
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	被保険者が夏季保養施設を利用することで、心身をリフレッシュし、健康の増進に役立てる。						成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標	成果指標名(1) 夏季施設利用率 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	被保険者の健康増進のため、夏季保養施設を借上げる。												
区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%		
		実績		計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	件				5	5	7	7	71.4	100.0		
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	%				100	100	100	100	100.0	100.0		
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円				1,689	1,688	2,331	20年度予算執行率% 99.9				
	(内)投資的経費等	千円							特記事項				
	(内)委託費	千円				0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	人				0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00		
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0	0	0	905	905	905				
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	0	0	0	2,594	2,593	3,236					
	単位あたりコスト (-) ÷	円				518,800	518,600	462,286					
	財源	受益者負担分	千円										
		国からの補助金等	千円										
都からの補助金等		千円											
その他の補助金等		千円					1,688						
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	1,688	0					
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	2,594	905	3,236					
受益者負担比率 ÷	%				0.0	0.0	0.0						

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 630

20年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		夏季施設借上げ料金の助成			1,688
		その他 ()			0
	(2)事業実績	被保険者が夏季施設を家族と利用し、健康増進に役立てられるよう、借り上げました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	20年度からの実施です。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設数をもっと増やしてほしいという要望があります。 温泉利用券を国保同様に配布してほしいという要望があります。			
	今後の予測	21年度は好評により、7施設に増やしましたが、これ以上の増は困難です。			
事業のあり 方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 健康増進事業として、被保険者の心身のリフレッシュに貢献しています。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	21年度借り上げ施設数を2所増やしています。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	施設借り上げ料のみ支出であり、食事等は利用者負担です。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	ニーズの高い事業であり借上げ施設数を減らすことはできません。			
協働等 点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	夏季施設借上げに対しては、広域連合の健康増進事業補助金を受けられるため、21年度以降も実施し、高齢者の健康増進に寄与していきます。その他の高齢者にふさわしい保健事業についても検討する必要があります。温泉利用券の発行については、一自治体としてできることはありませんので、保険者である広域連合が検討中です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	国民健康保険加入時と同様、高齢者が夏季施設を利用できるようにしました。	
(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後も実施していきます。	
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
	(2) 理由	21年度は7施設に増やしましたが、22年度以降の増は困難ですので、現状を継続していきます。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	保険料の還付			款	4	項	1	目	1	事業	1	整理番号	631		
担当部課名	保健福祉部国保年金課			係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1283			昨年度整理番号	枝番号		
上位施策No・施策名	104 後期高齢者医療事業の運営							予算事業区分	新規事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等	(1) 高齢者の医療の確保に関する法律 (2)							
	後期高齢者医療制度の被保険者														
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	迅速かつ適切に還付処理を行う。					活動指標名(式)	(1) (2)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	この事業にかかる歳出は、通常は生じないが、実際に発生した場合のために予め予算措置をしている科目存置					成果指標	(代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
						成果指標名(1)									
						算定式・指標の説明等									
						成果指標名(2)									
						算定式・指標の説明等									
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度	計画に対する20年度		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度	の達成率%	の達成率%		
指標	活動指標(1)														
	活動指標(2)														
	成果指標(1)														
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円					1	0	10,001	20年度予算執行率%		0.0		
	(内)投資的経費等		千円									特記事項 当該事業は科目存置であり、20年度の事業実績もないため、「20年度の事業実施状況」、「協働等点検」、「評価と課題」欄及び「改善・見直しの方向」の記述部分についての記載はありません。また、「事業のあり方点検」、「22年度方針」欄の理由はすべて、「当該事業は科目存置であり、20年度の事業実績もないため」であり、個々の理由欄への記載は省略しています。			
	(内)委託費		千円					0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)		人					0.00	0.00	0.00	0.00			2.00	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0	0	0	0	0	0	0	18,100				
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	0	0	1	0	28,101						
	単位あたりコスト (-)÷		円												
	財源	受益者負担分		千円											
		国からの補助金等		千円											
		都からの補助金等		千円	/	/	/								
		その他の補助金等		千円	/	/	/								
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	1	0	28,101							
受益者負担比率 ÷		%				0.0		0.0							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 631

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				実績なし	
		その他 ()			0
		(2)事業実績			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	20年度は、保険料からの歳入還付のみでした。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	住民の意見は特にありません。			
	今後の予測	21年度以降は滞納保険料繰越分の歳出還付があるため、科目存置ではありません。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	左の理由または具体的内容			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	平成20年度は、歳入還付のみでしたが、平成21年度以降は、歳出還付が発生するため、予算額は大幅に増加しています。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	過誤納保険料の還付であるためです。			
	(4) コストを下げる余地はあるか				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手			
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方			
評価と課題					

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 歳出還付が増えるため、21年度は、予算を大幅に増額しています。		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理 由	歳出還付が増えるため、21年度は、予算を大幅に増額しています。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	予備費充当	款	5	項	1	目	1	事業	1	整理番号	632			
担当部課名	政策経営部財政課	係名							連絡先 電話番号	昨年度 整理番号	枝番号			
上位施策No・施策名	104 後期高齢者医療事業の運営						予算事業区分	新規事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		後期高齢者医療事業会計		根拠法令等 (1) 地方自治法第217条 (2) 杉並区予算事務規則第22条								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	地方自治法第217条の規定に基づき、予算外の支出または予算超過の支出に備える。					活動指標名(式) (1) (2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	予算外の支出に対する予備費の充当 予算超過の支出に対する予備費の充当 予備費充当は、実際に執行する予算事業科目に所要額をつけかえて行うため、本事業での決算額は常に0円である。					成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率	計画に対する20年度の達成率		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	22年度				
指標	活動指標(1)													
	活動指標(2)													
	成果指標(1)													
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円					92,529	0	100,000	20年度予算執行率% 0.0			
	(内)投資的経費等		千円								特記事項 法改正に伴うシステム改修外1件、7,471千円の予備費充当を行いました。 なお、20年度計画額は、予備費充当後の計画額(予算額)となっています。			
	(内)委託費		千円					0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)		人					0.01	0.00	0.00			0.00	0.01
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0	0	0	0	91	0	91				
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	0	0	92,620	0	100,091					
	単位あたりコスト (-)÷		円											
	財源	受益者負担分		千円				0	0	0				
		国からの補助金等		千円				0	0	0				
		都からの補助金等		千円	/	/	/	0	0	0				
その他の補助金等		千円	/	/	/	0	0	0						
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	92,620	0	100,091						
受益者負担比率 ÷		%				0.0		0.0						

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 632

20年度の事業実施状況	(1) 主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		その他 ()			0
(2) 事業実績					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初予算額の推移 平成 年度100,000千円			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測	今後同規模程度で推移するものと予測します。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	後期高齢者医療事業会計の予算外の支出、予算超過に対して充当することとなっているため、貢献度は大きいです。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	予算外の支出、予算超過に対して充当するための予算であり、本事業では直接予算執行は行いません。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	性質上、受益者負担になじまない。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手			
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方			
評価と課題		予備費充当については、本事業で直接予算を執行するものではなく、予算外の支出、予算超過に対して他の事業に予備費を充当することで予算を執行することが可能となります。これからも区の施策を推進していく中で、予算外の支出等が発生した時に対応できるよう、継続していかなければならない予算と考えます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	22年度についても、前年度と同規模の予算計上を見込んでいます。	